



名古屋の偉人伝

No. 6

山田才吉(やまださいきち)の巻

ここがスゴイ！

大根のみりん粕漬(守口漬)を考案・愛知県で初めて缶詰を製造販売・名古屋教育水族館設立など実業家として幅広く活躍。



東陽館

(『名古屋市史資料写真集』より)

こんな人生を送ってきました(経歴)

嘉永 5(1852)年、美濃国厚見郡富茂登村に生まれる。江戸で板前修業をした後、瀬戸・大須・熱田で料理店を営んだ。明治 14(1881)年、「喜多福」という食料品店を開店。大根のみりん粕漬を考案して守口漬と名付け、明治 15(1882)年には看板商品として売り出した。明治 17(1884)年には愛知県下で初めて、缶詰を製造販売した。

明治 20(1887)年、新聞「中京新報」を創刊。明治 29(1896)年、東陽町(現在の中区千代田 1 丁目のあたり)に東陽館という大規模な集会施設を建設した。東陽館は、396 畳の大広間のほか料理店・売店・遊技場などを備え、庭ではボートを楽しむことができた。

明治 24(1891)年、東築地 5 号地(現在の港区東築地)に名古屋教育水族館を建設した。最新設備を備えた洋風の建物で、魚の回遊をパノラマ式で見ることができた。

そのほかにも、中央卸売市場の開設・名古屋瓦斯株式会社の運営など、実業家として幅広く活躍した。昭和 12(1937)年 1 月 31 日、85 歳で生涯を終えた。

もっとくわしく知りたいあなたに(参考文献)

『不屈の男 名古屋財界の怪物山田才吉』(藤澤茂弘／著 ブックショップマイタウン 2013 年)

『明治の名古屋人』(名古屋市教育委員会／編 名古屋市教育委員会 1969 年)

『明治・名古屋の顔』(服部錠太郎／著 六法出版社 1973 年)

『道徳探検昔と今』(加納誠／著 [加納誠] 2006 年)